

専門医のいる病院

医療法人 康仁会



西の京病院

病院案内

最良の心

最新の設備

最高の技術



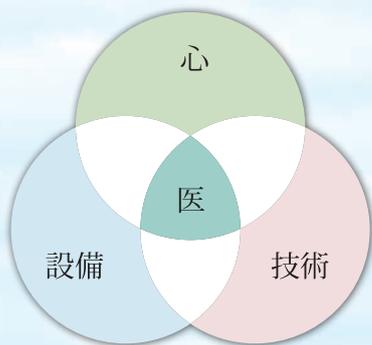
挨拶

昭和61(1986)年開院以来、奈良市の地域医療の発展に取り組んで参りました。現在、高度な医療を提供するための「機能を絞った専門病院」として、一般急性期198床を含む病床数248床の中規模病院として精進を続けております。一方で、「富士山構想」を掲げ、“山は高く、裾野は広く”をモットーに、急性期医療から介護に至るまでをシームレスに展開する「面倒見のいい総合医療施設」でもありたいと願っています。その一環として老健施設ロイヤルフェニックスを併設しておりますが、近年、「時々入院、ほぼ在宅」と言われるような在宅医療が重視されるようになってきたため、介護付有料老人ホームメビウス大和郡山、サービス付き高齢者向け住宅メビウスまほろば、グループホームメビウスまほろばを展開し、2023年4月、西の京介護医療院やすらぎを県下で初めて新規開設いたしました。さらには訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護を充実させることで、また、地域密着型の病院としての果たすべき役割も大きく、近隣の先生方と連携しながらも、患者さま一人ひとりの生涯にわたり寄り添える医療を目指して参ります。

2020年に始まった我が国の新型コロナウイルス感染症による未曾有のパンデミックもウィズコロナの時代と進化するなか、ロシアのウクライナ侵攻による先の見えにくい世界経済の減速、少子高齢化の加速、そして2024年から新たに動き出す医師の働き方改革など数えきれない様々な課題に対し、西の京病院をはじめとする医療法人康仁会は地域の皆様とともに歩んでいきたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長・病院長
吉岡 伸夫



3つの輪 私たちの医療ポリシーです

私たち西の京病院の医療ポリシーを表すマークは、3つの輪の融合から成り立っています。患者さま本位の医療を考えた思いやりとやさしさの「心」、奈良県下でもトップクラスのドクター、ナース、医療技術者によるハイレベルの「技術」、そして、最新で高度な医療機器が揃った「設備」。これらが、無限の可能性を意味するメビウスの輪でしっかり結ばれています。

康仁会 基本理念

“安心”と“信頼”をキーワードに患者さまを
“一生涯”見守る医療・介護環境づくりを実践します。

- 1 安心で質の高い、開かれた医療・介護を目指します。
- 2 ADLの向上と、QOLの確保を目指します。
(Activities of Daily Living: 日常活動) (Quality Of Life: 生活の質)
- 3 老後の安心・生涯の保障を追求し続けます。

診療部門

内科

生命に直結する三大疾患(がん、心筋梗塞、脳血管疾患)の早期発見、早期治療に重点を置いています。内科疾患の診断と治療に幅広く対応できる臨床経験豊富な医師が“病気だけを診ることなく、人を診るよう”心がけております。

循環器内科 P5へ

心臓と血管に関する病気を専門とし、主な対象疾患は虚血性心疾患・下肢動脈疾患や心筋症、心臓弁膜症、心内膜炎、不整脈、閉塞性動脈硬化症などです。

禁煙外来

喫煙は日本人の生活習慣による死亡原因の第1位です。喫煙の害を取り除く唯一の方法は禁煙です。治療に精通したスタッフが、患者さんによりそって個性のある指導を行いサポートしていきます。

呼吸器内科

肺炎などの肺感染症、間質性肺炎など肺疾患、喘息などの診療が主となります。

消化器内科 P6へ 消化器内視鏡センター

消化管(食道、胃、十二指腸、大腸)、肝臓、胆道・膵臓など幅広い臓器の疾患に対する検査・治療を行っています。

腎臓内科 P10~12へ 透析センター

慢性腎臓病(CKD)ならびに透析療法などの幅広い腎疾患に対応しております。

糖尿病内科 P16へ

糖尿病の合併症は、末期になるまで自覚症状が無い事が多く、気付かないうちに悪化します。3大合併症、大血管合併症など、早期発見で悪化を予防します。

外科 P13へ

良性・悪性疾患(がん)、胆石症など予定手術はもちろん、胆嚢炎、虫垂炎、鼠径ヘルニアなど緊急手術に対しても腹腔鏡下の手術を積極的に施行しており、比較的短期間の入院で行うことができます。

肛門外科 P13へ

日本人の3人に1人は痔に悩んだ事があると言われるほど身近な病気、お尻の悩みを克服します。

ハイパーサーミヤ外来 P13へ

高周波を利用して正常組織にダメージを与える事無く、がん病巣を加温する治療法です。

整形外科 P7へ

身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤というからだの土台骨と、四肢を主な治療対象にしています。スポーツ傷害や交通外傷、労働災害などによる外傷のほとんどの疾患が対象です。

人工関節センター P8へ 脊椎センター P9へ

リハビリテーション科

実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として、各領域の専門家が共同し力を合せてリハビリテーションを行っています。

リウマチ科 P7へ

関節やその周囲に痛みや腫れを伴う関節リウマチを中心とした自己免疫疾患の診断と治療を行います。

血管外科 P14へ 血管外科センター

下肢静脈瘤を専門的に治療しています。全国から医療関係者が多数見学に訪れています。

脳神経外科／脳腫瘍外来

脳梗塞、脳内出血など急性期から慢性期の診断、脳血管性認知症の鑑別診断もMRI・MRAを使って実施しています。

また、脳腫瘍外来では、あらゆる脳腫瘍に対する診断と治療を行っています。

眼科 P15へ

網膜硝子体疾患は、侵襲の少ない極小切開硝子体手術を中心に網膜裂孔や糖尿病網膜症に対するレーザー治療や加齢黄斑変性症や網膜血管閉塞病変や糖尿病による黄斑浮腫に対する抗VEGF剤の注射治療まで行っています。白内障、緑内障もご相談ください。

泌尿器科

腎臓、尿管、膀胱などの尿路臓器、精巣・前立腺などの男性生殖器官の悪性腫瘍、ホルモンを分泌する副腎などを対象とし、検査・治療などを行っています。

耳鼻いんこう科

耳・鼻・咽頭炎などの領域疾患の診察を行っています。

皮膚科

様々な皮膚疾患の内科的、外科的治療を行っています。

放射線科

主にPET-CT、PET、MRI、CT、マンモグラフィなどの画像診断を行っています。特にPET検査については地域の医療機関との連携を密にして、現在までに7万件以上の県内随一の診断実績があります。また、健診センターの画像診断や結果説明も担当しており、予防医療にも力を入れています。

歯科 P17へ

生涯にわたりお口の健康を守るお手伝いをします。お口のことでお困りでしたら是非ご相談ください。

麻酔科

手術前診察により患者さまの全身状態を把握し、手術可能な状態、術後合併症を起こさない状態にコントロールします。

救急科

軽症から重症まで救急の患者さまを受け入れるべく、機能を備えた体制で運営しております。

地域の狭心症・心筋梗塞など
虚血性心疾患・下肢動脈疾患の撲滅を目指して

循環器内科



POINT

超高速撮影64スライスCTを駆使して冠動脈や下肢動脈の様子が短時間に検査ができます

POINT

(局所麻酔下、苦痛が少なく)胸や脚を切開せず、合併症の少ない低侵襲カテーテル診察・治療ができます

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)による急性心筋梗塞の治療



冠動脈の完全閉塞

ステント留置

治療後

熟練した専門医が診察から治療、フォローまで一貫して行っています。

狭心症や心筋梗塞など虚血性心疾患・下肢動脈疾患は命に関わることもありタイミングを逃さず治療する必要があります。脚の血管に動脈硬化が起こると長い距離が歩けなくなり生活の質が低下します。

当院ではカテーテルによる血管内治療に熟練した専門医が診察から治療、さらにその後のフォローまで一貫して責任を持って行っています。

胸の痛み、息切れ、脚の痛みなど気になる症状のある方はお気軽にご相談ください。

血管カテーテル室をリニューアル

胸や脚を切開せず、細い検査用の管(カテーテル)を心臓なら手首、脚なら付け根や足首から挿入、透視モニターを見ながら正確に診断し、必要に応じて迅速・丁寧な治療を行います。2006年の開設以来7400件超の検査・治療実績があります。アンギオ(心・血管造影)装置をリニューアル(被曝量軽減、造影撮影時間短縮、造影剤使用量軽減)しました。



フィリップス社製 Azurion7 B 12/12

医師紹介



循環器内科医長
名方 剛



循環器内科医長
辻本 大輔

内視鏡検査7000件超／年の実績
 苦痛のない内視鏡診療で消化器疾患を早期発見・治療

消化器内視鏡センター



POINT
 十分な経験と知識を有する消化器病専門医・内視鏡専門医が診察しています

POINT
 苦痛をなくすため、内視鏡検査が鎮静下（静脈麻酔のもと）で行います

POINT
 早期発見した消化管がん（食道・胃・大腸）の内視鏡切除を確実にを行います

POINT
 県内でも数少ない、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎（UC）クローン病（CD））の豊富な知識・治療経験を有しています

POINT
 消化管だけでなく、肝臓・胆道・膵臓疾患に対する検査・治療も積極的に行っています

最先端の機器を用いた内視鏡診察



薬師寺（塔）など眺望がすばらしい待合室

当科では消化管（食道、胃、十二指腸、大腸）、肝臓、胆道・膵臓など幅広い臓器の疾患に対する検査・治療を行っています。

「的確な診断、適切な治療」をモットーに、効果的かつ患者さまに負担の少ない一貫した検査、診断、治療を目指しています。特に内視鏡診断、治療に力を入れており、最先端でハイレベルの診療の実践をめざします。

当科では、静脈麻酔を用いた鎮静下内視鏡検査を積極的に取り入れております。多くの患者様より「これまで怖くて辛かった内視鏡検査が苦手ではなくなった」との高評価をいただいております。是非、お気軽にご相談ください。

医師紹介



副院長 兼
 消化器内科部長 兼
 総合健診センター長
塩谷 淳



消化器内視鏡
 センター長
松本 信之



西尾 昭宏



川端 一美

背骨と骨盤というからだの土台骨と、
四肢の機能的改善を治療する

整形外科・リウマチ科



整形外科

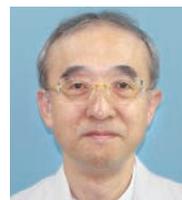
「運動器」四肢の機能的改善

整形外科は運動器として上肢、体幹部、下肢の各部位を構成する骨格、関節、筋肉、神経を対象として診断と治療を行っています。

病状や疾患は多岐にわたり、現在は診断がついたところから治療になると各部位ごとに専門医に委ねることを行っています。当科は人工関節センターで股関節やひざ関節の人工関節置換術、脊椎センターで腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症に対する手術を行っています。リウマチ科では病状により生物学的製剤や最新のJAK阻害剤による治療も取り入れてきました。また、骨粗鬆症の診断と治療にも積極的に取り組んでおり、骨粗鬆症リエゾンサービスチームが[STOP AT ONE]をスローガンにして骨粗鬆症性骨折の2次性骨折予防対策を行っています。痛みがあると筋力がすぐに弱ってしまうため、リハビリテーションによる肩甲帯、体幹、下肢の筋力トレーニング指導も積極的に行っていますので、気軽にご相談ください。

当院は日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) に参加しています。

これは公益社団法人日本整形外科学会が行っているデータベース研究事業で個人が特定されないように匿名化して電子登録するものです。趣旨をご理解いただき協力をお願いします。



副院長
整形外科部長
リハビリテーションセンター長

内藤 浩平

リウマチ科

一人ひとりにあった個別の薬物治療を提案

当院では、採血、レントゲンなどの検査データに基づいた診断を心がけています。診察や問診状況も鑑みて診断の補助に役立てています。ご本人さんの生活スタイルにできるだけ沿えるように、個別の薬物選択を行っています。また、整形外科および内科のリウマチ専門医が連携体制を取り、医師を中心としたチーム(看護師・薬剤師・検査技師・理学療法士・作業療法士)で、日常生活全般における悩みの相談や薬剤に関する相談も適宜受け付けております。

関節リウマチ

関節リウマチとは、免疫の異常により関節の滑膜などに炎症を起こして腫れや痛みを起し、進行すると関節の破壊、変形から機能障害に至る病気です。主に手足の関節で起こりますが、内臓を侵すこともあります。患者数は、30歳以上の人口の1%にあたる人がこの病気にかかるといわれています。日本では2020年代には60歳代の人が発症が最も多くなっており、最近ではさらに高齢発症の関節リウマチが注目されるようになりました。男性より女性に3倍多く認められていますが、高齢発症では男女差は少なくなっています。



リウマチ科部長
城崎 和久

高度な技術で一生涯散歩を楽しめる生活を

人工関節センター



POINT

人工関節手術に習熟した
専門医による診断と治療

POINT

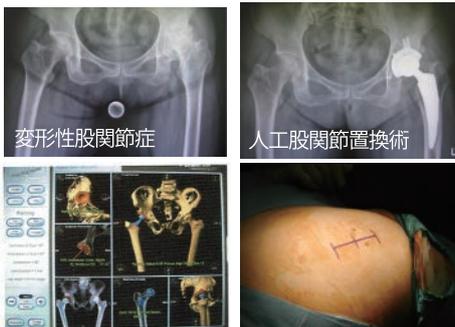
手術ナビゲーションを
併用したMIS人工関節手術

POINT

3次元動作解析を用いた
リハビリテーション

ナビゲーションを併用したMIS(最小侵襲)人工股・膝関節手術

■人工股関節置換術



■人工膝関節置換術



人工股関節全置換術はCT画像から術前に3次元手術計画を行い、手術ナビゲーションを用いて術前計画を確認しながら最小侵襲手術を実施しています。また、人工膝関節全置換術は大腿四頭筋を切開しない最小侵襲手術を行うことで術後早期に歩行機能が回復します。

M e s s a g e

近年、本邦において人工関節手術を受けられる患者さまは年間12万人以上と推計されています。人工関節の耐久性が向上して20年以上の機能維持が可能となってきていますが、手術はもちろんのこと術後の運動機能向上のリハビリテーションや骨粗鬆症のチェックとその後の治療も重要となってきました。当センターはその専門施設として長年の蓄積を築いています。

人工股関節、人工膝関節とも最小侵襲手術に習熟した専門医が手術を行い、看護師、理学療法士、薬剤師など病院スタッフがチーム医療で早期の関節機能回復をはかり、術後のフォローアップを定期的実施することで安心して生活を送っていただけるようにサポートします。



副院長
整形外科部長
リハビリテーションセンター長
内藤 浩平



人工関節センター長
斉藤 昌彦

高度な技術に基づく負担の少ない手術で早期の社会復帰を目指す

脊椎センター



POINT

豊富な経験と高い技術を持った脊椎外科専門医による正確な診断と治療

POINT

脊椎内視鏡手術のほか、小さな傷口で負担の少ない低侵襲手術を提供

POINT

基本的には手術翌日に歩行開始可能

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡手術



内視鏡や顕微鏡を駆使して低侵襲かつ正確に手術を行います。多椎間にわたって多岐に病変が存在する場合は従来法での除圧を行い、固定術を併用する場合があります。

←2cm弱の小さな切開で手術可能です。

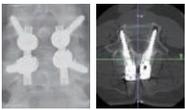
腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法(ヘルニコア注入)

ヘルニアの形状によっては椎間板内への注射のみで治療できる場合があります。

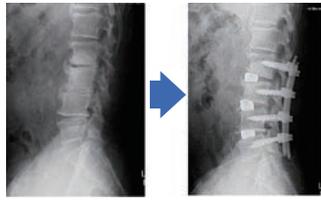
展開の少ない低侵襲固定術

腰椎すべり症など、不安定性が問題となる場合には固定術を行います。

術野の展開が少ない低侵襲な方法で行います。多くの場合で手術翌日には離床可能です。



CBT法



側方アプローチ椎間固定 (XLIF)
経皮的椎弓根スクリュー (PPS)

骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術(BKP)

圧迫骨折による痛みが長引いたり、骨折の治りが悪いと予測できる患者様に対し、風船で骨折部を膨らませてセメント注入する方法を行っています。



骨折椎体内にバルーンを挿入

バルーンを拡張させ椎体を矯正

バルーンを抜きセメントを注入

セメントが硬化すれば完成

医師紹介



整形外科部長 兼
脊椎センター長
向井 克容



脊椎センター
副センター長
吉田 真



藤井 渉

透析 162床 約400人の患者は県下最大級

透析センター

- 本院透析センター ●プラザ透析センター
- プラザ第2透析センター
- 西大寺クリニック透析センター



POINT

透析患者数、
県内トップクラス
の実績

POINT

日本透析医学会認定施設
日本透析医学会認定
指導医、
透析療法指導看護師
が常勤

POINT

全透析センター
オンライン、
血液透析との
併用療法も対応可能

POINT

4か所の
透析センターで、
ライフスタイルに
合わせた透析

希望される方には送迎サービスも行っています



■本院透析センター

(西の京病院 2階)

TEL: 0742-35-1121(代)

FAX: 0742-35-6220

血液透析 65床 その他血液浄化療法
各種吸着療法対応可能

24時間入院含む緊急対応可能



■プラザ透析センター

(メディカルプラザ薬師西の京3階 北館)

TEL: 0742-35-7680

FAX: 0742-35-7684

夜間透析も対応可能

血液透析 38床 (プラザ透析センター)

34床 (プラザ第2透析センター)

■プラザ第2透析センター

(メディカルプラザ薬師西の京3階 南館)

TEL: 0742-35-1107

FAX: 0742-35-1109



■西大寺クリニック
透析センター

(大和西大寺駅南口、明光第6ビル2階)

TEL: 0742-52-3711

FAX: 0742-52-3712

血液透析 25床

最新の周辺機器を導入

透析チェアとベッドの選択可能

病院だからこそできるサポート

西の京病院は、病院施設としては県下最大級の透析実績があり、多くの患者さまの透析生活をサポートさせていただいております。高度な知識と技術を持つスタッフが患者さま一人ひとりの状況をチェックし、なにか異常があればすぐに専門医の診察を受けていただきます。

内科はもとより外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、歯科、眼科、リハビリテーション科等の受診も随時できます。重症急性疾患の治療や心臓カテーテル治療後の透析は、HCUで行なっています。緊急時や時間外受診も迅速に対応しております。

入院治療が必要な患者さまは一般病棟、リハビリや療養が必要な患者さまは療養病棟に入院していただきます。透析中にベッドサイドでの栄養指導も随時行なっています。お気軽にお声かけください。

それぞれのライフスタイルに合わせて

西の京病院本院透析センターでは65床、プラザ透析センターでは38床、プラザ第2透析センターは34床、2011年10月に開設された西大寺クリニック透析センターでは25床で、駅から徒歩5分の便利な場所にあり、患者さまのライフスタイルに合わせたそれぞれの施設で透析をお受けいただけます。

M e s s a g e

総合医療施設 西の京病院を中心に

医療から介護さらには在宅医療まで、“トータルヘルスケア”を実践する西の京病院を中心に、透析医療の深い知識と高い技術を追求してまいりました。急性浄化療法やHCUにおける重症患者さまの透析などさまざまな入院医療にも対応する本院透析、血液透析のみならずオンラインHDFにも対応しています。仕事の帰りにでも透析を受けていただけるよう大和西大寺駅前に「西大寺クリニック」透析センターを開設しております。透析生活をより快適に過ごしていただくための施設として、スタッフ一同、思いやりの医療を実践してまいります。



理事長・病院長 兼
透析センター長

吉岡 伸夫

医師紹介



副院長 兼
内科部長 兼
透析センター
副センター長

武井 誠



泌尿器科部長 兼
透析センター
副センター長

松田 淳



樋口 敦



樋口 侑子

腎不全外来(腎臓内科)

対象者

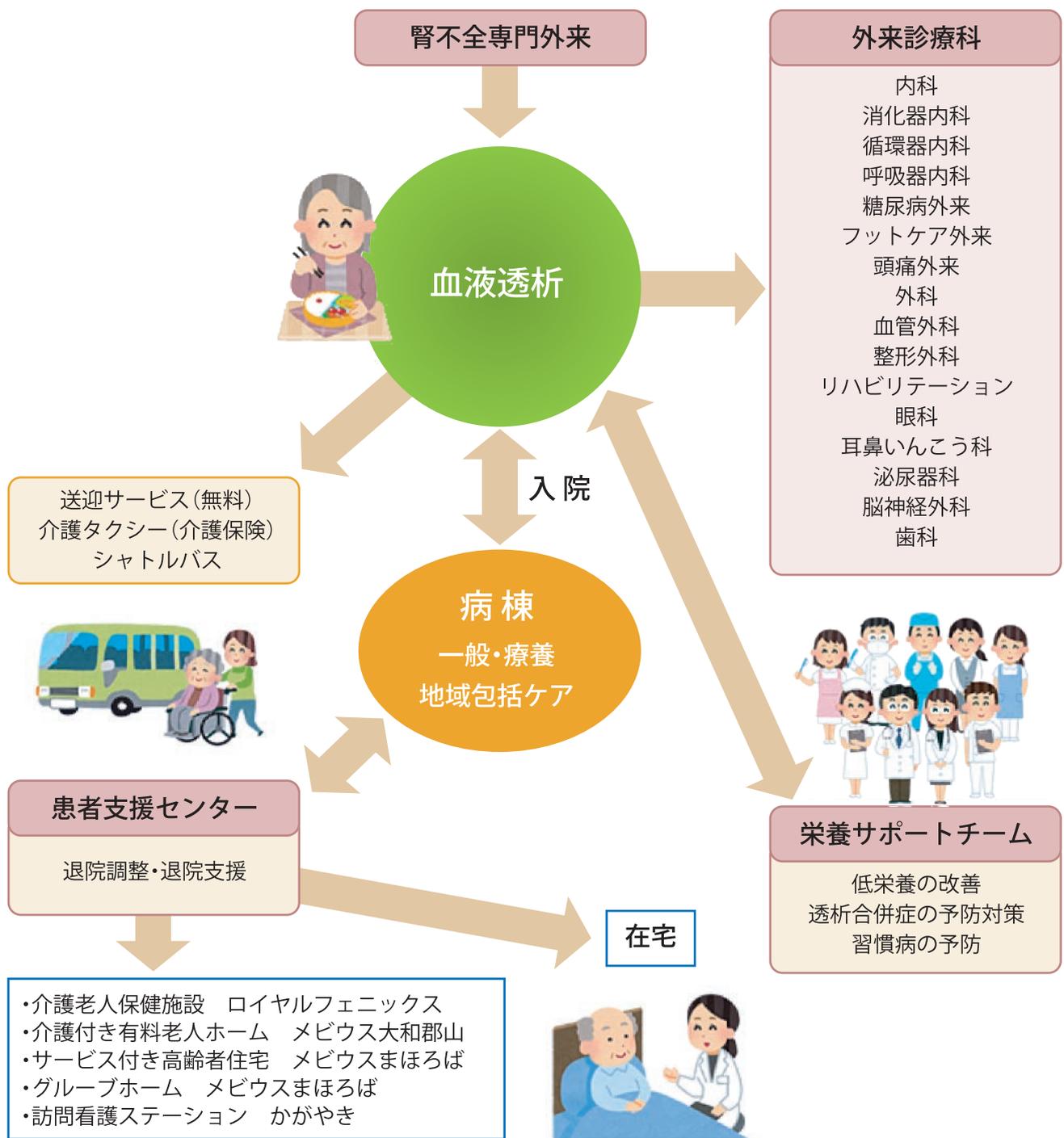
腎臓病が気になる方及びご家族の方
腎臓病と診断された方(受診が初めての方もご利用下さい)

日 時:毎週 火曜日(担当:樋口敦) 木曜日(担当:池之上)

お電話:患者様相談窓口 TEL 0742-35-2055

(月~金14:00~17:00、土9:00~12:00)事前にお申し込み下さい。

透析センターサポートチーム



透析サルコペニアサポートチーム

サルコペニアとは骨格筋、筋肉量が減少した状態を指します。高齢化や低栄養が存在するとサルコペニアを発症しやすく、筋力の他活まで低下してしまいます。透析療法を受けておられる患者さまでは栄養素の損失や慢性炎症で栄養不足に陥りやすく、サルコペニアの危険性が高い状態と言えます。そういった状態を改善するために、当院では透析サルコペニアサポートチームを発足しました。透析センタースタッフである看護師、臨床工学技士と、理学療法士、管理栄養士がチームとなり効率的なサルコペニアの予防と改善を目指します。



患者さま一人ひとりにあわせた最良の医療を

外科



POINT

良性疾患だけでなく、がん手術においても、腹腔鏡下手術を積極的に行っています

POINT

消化器内科とのシームレスな連携をすすめており、腹腔鏡・内視鏡合同手術も可能

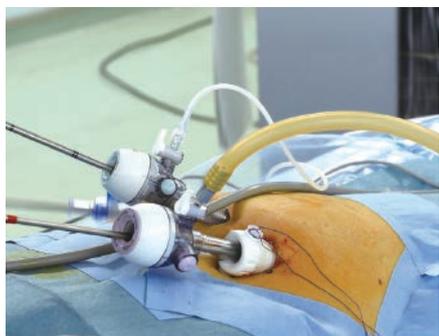
POINT

おしりの悩みでお困りの方に…
完全予約制で肛門外来を行っています

POINT

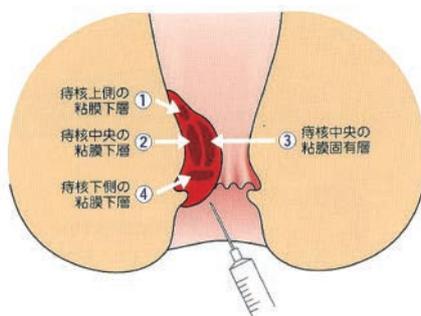
奈良県下唯一のハイパーサーミア治療を行っています

腹腔鏡手術



がん手術を含めた予定手術だけでなく、胆嚢炎・虫垂炎といった緊急手術においても積極的に腹腔鏡下の手術を施行することで早期退院していただけることを目指しています。

肛門外来(痔核硬化療法)



いぼ痔はその程度によってさまざまな治療方法があります。最新の注射剤による硬化療法も行っております。つらくなる前には是非ご相談ください。

ハイパーサーミア外来(がん温熱療法)



正常組織にダメージを与えることなく、がん病巣を加温する治療法で、免疫力の回復、QOL(生活の質)の改善・向上も期待されます。

M e s s a g e

特に腹部内臓の手術は体への負担が少ない治療です。様々な合併症をお持ちの方も多いと思いますが、他科との連携を密に行うことを心がけています。

“切るだけ”が外科ではありません。お困りのことがあればご相談ください。



名誉院長
櫻井 隆久



外科部長
西沼 亮



外科副部長
岡内 博

下肢静脈瘤手術 900件超／年は国内トップクラス

血管外科センター

足の血管が浮き出ている、むくみや足のだるさが気になる方は下肢静脈瘤が疑われます。早い段階で専門医の受診をおすすめします。

深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）やリンパ浮腫でお困りの方も適切な治療を行えば、見違えるほど改善されます。お気軽にご相談ください。



POINT

綺麗で清潔感溢れる設備の充実した施設

POINT

下肢静脈瘤は、国内トップクラスの手術数実績です

POINT

ムレずにむくみを改善する「たびぽ」ストッキングを開発

最先端の機器を用いた治療

血管内焼灼術（レーザー治療、高周波治療）、ストリッピング手術、硬化療法、圧迫療法から患者さまの病態に合った治療を提案いたします。これらの治療は、すべて保険診療で行えます。当院では局所麻酔で行っているため日帰り手術も可能です。手術による傷は可能な限り小さくして、痛みが少なく、傷あとも目立たない様に工夫しています。



ラジオ波（高周波）エンドヴィーナスクロージャー



ELVeS Laser（エルベスレーザー）1470nm



before



after

下肢静脈瘤 →

グルー治療

2020年1月より下肢静脈瘤を医療用接着剤で治療するグルー治療が健康保険適用になりました。厚生労働省認可「Venasealクロージャーシステム」を用いたグルー治療を開始、国内では当院が2施設目です。この手術は患部の静脈内にカテーテルを挿入の上医療用接着剤を注入し血管壁を閉塞させる手法で、レーザーやラジオ波のように熱を使わないため体への負担がより少ない治療法です。



Venasealクロージャーシステム

「たびぽ」ストッキング

奈良県の伝統的産業である靴下産業の復興のために、ボランティアで集まった県内の医療従事者、靴下会社、大学生が連携して医療用の弾性ストッキングを作りました。この弾性ストッキング「たびぽ」という名前は、「タオル地」でぴったりフィット、脚をしっかりサポート」という特徴を活かした名前です。タオルのようにやわらかく、滑らかな優しい肌触りの弾性ストッキングです。



M e s s a g e

診察に来られた全ての患者さまから

「治療を受けて本当に良かった！」のお言葉をいただくために一切の妥協をせず治療に向き合っていきます。

治療は患者さま一人ひとりが意欲を持ち、医師や看護師をはじめ各医療スタッフが手助けすることで初めて質の高い治療が実践できます。お互いによくコミュニケーションをとれるように普段の診療から明るく、気軽に相談できる雰囲気を心掛けています。

下肢静脈瘤、リンパ浮腫、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症など幅広い血管疾患について、西の京病院血管外科では地域に根差した質の高い治療を提供してまいります。



血管外科センター長
今井 崇裕

眼科



目の教室(毎週開催)

眼科外来にお問合せください。TEL.0742-35-7683

POINT

白内障手術は外来日帰り手術のほかご希望により入院手術も選択できます

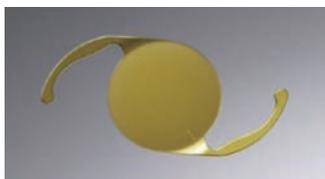
POINT

世界最小の切開創の手術を可能にした最新型硝子体手術装置

POINT

水晶体自体が外れたり、緑内障や糖尿病がらみの難治性白内障にも対応

白内障手術 多焦点眼内レンズ(3焦点)の選定医療を行っています



乱視対応レンズ



多焦点レンズ

手術は、局所麻酔(目薬)下で顕微鏡を使って行い、痛みはほとんどなく、傷口も約2mm前後と非常に小さいです。超音波で濁った水晶体を取り除いた後、眼内レンズ(ループも入れて10mm程度)を挿入します。

その時間はわずか10分ぐらいで、日帰り可能(希望があれば入院)です。

レンズの性能も良くなった上に、**多焦点レンズ**(遠近両用)、乱視用など付加価値の付いたものもあります。



白内障用手術装置

●白内障とは？



加齢白内障

カメラでいうとレンズにあたる水晶体という部分が、白く濁ってくる病気が白内障。加齢によるものがほとんどですが、アトピー性皮膚炎や糖尿病などの合併症で若い人にも増えています。進行すると、レンズが光を通さなくなるので視力の低下やぼやけ、かすみなどを感じるので日常生活に差し支えるようになれば、手術が必要です。

網膜硝子体手術

網膜硝子体手術は、局所麻酔下で白目部分の3か所に小さな穴(0.5mm以下)を開け、細い器具(27ゲージ)で行います。眼内の出血や濁りを除去したり、はがれた網膜を貼り付けたりします。無縫合のことが多く、2~7日の入院(目の中の状態により、うつぶせ寝が必要)となります。

●網膜硝子体疾患とは？



術前

術後

硝子体は、水晶体の奥の球状をしたゲル状の組織で、眼球の形を保ち、入ってきた光を屈折させる役割。様々な原因で網膜を引っ張る、増殖膜ができる、穴が開くなどで炎症や網膜剥離を起こしたり、濁りや出血などで眼の障害を引き起こしたりするものです。

怖いのが糖尿病性網膜症、網膜に酸素や血液の供給ができず網膜に出血や浮腫(むくみ)、網膜剥離が生じ、視力に障害を来します。

世界最小の切開創の手術を可能にした最新型硝子体手術装置



吸引カッター
照明器具
かんりゅう液
灌流液
注入器具
(眼球内の
圧力保持)
硝子体

硝子体用手術装置

M e s s a g e



眼科部長
伊藤 暁

最新の医療設備と熟練した医師の豊富な経験に基づいた治療

人間は、たくさんの情報を眼から得ていますが、視力障害を起こすと生活の質が低下していきます。

視力障害を招く眼の病気について、最新の医療機器による検査の後、迅速で的確な診断を行い、わかりやすい病状や治療の説明を行い、眼のケアから社会復帰まで、患者さまと一緒に考えていきます。たとえ、手術治療が必要になった場合でも、眼にやさしい手術を心がけており、眼はもちろん患者さまご自身やご家族の負担を減らすよう努力しております。最新の医療設備と熟練した医師の豊富な経験に基づいた治療を用意し、患者さまとの対話を大切に、スタッフ一同お待ちしております。

「合併症」を早期発見、チームでサポート

糖尿病・合併症外来



POINT

3大合併症、大血管合併症など、「合併症」を総合的に調べ、早期発見、悪化を予防

POINT

糖尿病専門医を中心に、糖尿病チーム（看護師、栄養管理士、薬剤師、理学療法士など）が治療をサポート

POINT

持続血糖測定をすることで1日の血糖の動きを可視化

糖尿病で怖いのは、知らないうちに忍び寄る「合併症」

糖尿病の合併症は、末期になるまで自覚症状が無いことが多く、気づかないうちに悪化します。普段の採血などだけでは早期発見が難しく、むくみ・視力の低下・足の痛み・しびれなどに気づいた時には症状が進行しており治療が困難となります。

糖尿病ケアチームでは、糖尿病専門医を中心に、糖尿病療養指導士の資格をもった看護師・管理栄養士・薬剤師や理学療法士・臨床検査技師・放射線技師など多職種が連携を取り、食事療法・薬物療法・インスリン治療・運動療法など、患者さま個々にできる診療を心がけ、病態やライフスタイルに合わせて治療を行っています。

【主な疾病】 ●3大合併症(細小血管障害)・・・神経障害・網膜症・腎症 ●大血管合併症・・・足・脳・心臓

糖尿病合併症外来での検査

初回診察日(1日(回目))

- ◎診察・採血・検尿
- ◎神経伝導検査・レントゲン検査・エコー検査
- ◎持続血糖測定
- ◎栄養指導・歯科検診

検査日(2日(回目))

- ◎初回診察日の1週間後に予約します
- ◎持続血糖測定の取り外し
- ◎エコー検査・MRI・骨密度検査・心電図検査
- ◎フットケア

結果説明日(3日(回目))

- ◎栄養指導
- ◎看護指導
- ◎診察
- ※検査に異常があれば専門医に紹介

※検査などは前後することがあります。患者さまに適していないと判断した場合は、一部検査の省略をすることがあります。

持続血糖測定(FGM)

FGMとは、血糖値センサーを皮下に挿入し、5分ごとに読み取った血糖値を体外の受信機に送信して表示する装置です。この装置を継続的に付けることで、24時間の血糖測定をすることが可能です。測定期間は8～14日間で、睡眠中であってもその動きを把握することができ、1日に約300回測定します。※血管に針を刺すわけではありません。

- 年に一度、糖尿病専門医のもとで合併症の検査を受けましょう。
- 当院は「奈良県糖尿病診療ネットワーク専門協議会」に参加しています。

M e s s a g e

糖尿病・合併症外来は、奈良県糖尿病診療ネットワーク専門医協議会の意向に基づき、地域の先生方の糖尿病診療のサポートをさせていただき外来として開設させていただきました。糖尿病治療方針や、合併症の検査でお困りの方はお気軽にご相談ください。



糖尿病内科部長
石塚 健

歯と口の健康は正しい歯磨き習慣から！

歯科

(メディカルプラザ薬師西の京3F)

ご予約優先制

TEL:0742-35-1117(歯科直通)

休診日:日・祝日、木曜日



POINT

徹底した衛生管理のもと
診療を行っています

POINT

患者さまの希望に寄り添った
治療を提供

POINT

GBTによるむし歯と
歯周病予防

おいしい食事を楽しんだり、笑顔でおしゃべりするなど日常生活を楽しく過ごすには、お口の健康が欠かせません。『生涯にわたりお口の健康を守るお手伝いをします』を信条に、小児からご高齢の方まで、あらゆる年代の方々のお口のお悩みを解決すべく歯科治療を行っております。外来では、一般歯科治療はもちろんのこと、インプラント治療、審美治療、矯正治療なども行っています。また、病棟往診・口腔ケア、NST(栄養サポートチーム)等、入院された方々をサポートできる体制を整えています。お口のことでお困りでしたらぜひ一度ご相談ください。

徹底した衛生管理

歯科治療では、唾液や血液に触れる機会が多く、感染予防の対策がととも重要です。患者さまに安全に、また安心して治療を受けていただくために、当院では徹底した衛生管理を行っています。

- 使用する歯科医療機器の患者さまごとの交換、専用の機器を用いた洗浄・滅菌処理の実施
- 口腔外バキューム(歯科用吸引装置)を設置し、治療時に飛沫する物質を吸引
- 職員を対象にした感染予防対策等に関する研修会を実施



保険診療はもちろん、インプラント・矯正・審美治療なども行っています

小児から高齢の方まで、あらゆる年齢の方が来院されています。それぞれの年齢で、また個人でもお口の状況は異なっており、治療に対する希望も多種多様になります。患者さまの希望に沿った治療を提案します。

短時間で効率よくバイオフィルムを除去する治療

むし歯と歯周病は歯科の2大疾患です。特に歯周病は成人の8割が感染しているといわれています。これらの疾患は歯の周囲に付着した細菌のかたまり(バイオフィルム)が原因です。EMS社の開発したエアフロープロフィラキシスマスターを使用し、短時間で効率よくバイオフィルムを除去する治療(GBT: Guided Biofilm Therapy)を取り入れています。



Guided Biofilm Therapy(GBT)は、エアフロー、ペリオフロー、ピエゾン技術を用いた、プロによる歯面清掃のバイオフィルム除去ソリューションです。科学的エビデンスに基づいてEMSが提唱しています。口腔内のバイオフィルムが疫学的な主因となり、歯周病や齲蝕、インプラント周囲の炎症を引き起こします。歯周病がリスクを高める全身性疾患は、循環器や呼吸器系疾患、関節炎や糖尿病などです。一般的な口腔衛生に臨床家による処置を組み合わせることで、バイオフィルムを抑制し、口腔および全身のより健康管理を実現させることが可能になります。

M

e

s

s

a

g

e

健全で高機能を持つ口腔を保つ

“健全で高機能を持つ口腔を保つ”がモットーです。元気な歯の数、また義歯でもかみ合わせのよしあしで健康寿命が変わってきます。口腔環境は幼時から、お子さんの歯のことも気軽にご相談ください。

医師紹介



中塚 伊知郎



青野 陽



吉元 智香子

“がん”・“生活習慣病”からご自身・ご家族を守る！

総合健診センター

(メディカルプラザ薬師西の京)

お問い合わせ先

人間ドック TEL:0742-35-1564

PETがん検診 TEL:0742-35-1215

POINT

生活習慣病を含めた総合的な健診『人間ドック』から、がんの特化した『PETがん総合検診』が受診可能

POINT

豊富な知識・治療経験を持つ専門医が高精度医療機器を用いて鎮静下のもと“苦痛のない内視鏡検査”を実践

POINT

高性能医療機器と画像読影専門医によるダブルチェック体制のもと質の高い検査の提供

POINT

病院併設型施設で検査から治療まで万全のフォロー体制

POINT

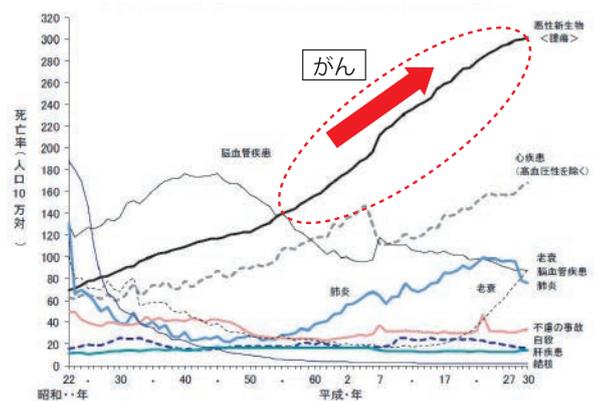
ゆったりとした検査専用フロアで快適に受診

当センターは、生活習慣病を含めた総合的な健診である『人間ドック』と、全身のがんに特化した『PETがん総合検診』を兼ね備えた全国でも数少ない総合健診センターです。

右図のように、死亡原因の第一位である“がん”の数は年々増加の一途であり、いまや日本人の2人に1人が罹患し、3人に1人はがんで死亡するといわれています。当センターはこの“がん”の早期発見に最も力を入れており、全身のがんを一度に検査できるPETを4台(西日本最大)備えているほか、個々の受診者様のニーズに合わせたがん検診コースや充実したオプション検査(MRI、CT、内視鏡、超音波など)をご用意しています。

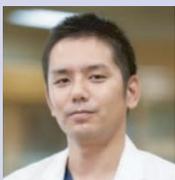
また、生活習慣病を含めた総合健診である人間ドックでは無痛の胃内視鏡検査のほか、医師からの丁寧な説明や生活指導を行い、1人でも多くの方の健康保持、増進に取り組んでいます。

■主な死因別にみた死亡率の年次推移 図1



厚生労働省 人口動態統計月報年計(概数) の概況からの引用

M e s s a g e



副院長
消化器内科部長・
総合健診センター長
塩谷 淳

医療技術の進歩により、日本人の三大死因である“がん”・“虚血性心疾患”・“脳卒中”は不治の病ではなくなりました。しかし、いまだ三大死因であり続ける理由は、これらの疾患が早期発見できていないことが原因と考えられます。

西の京病院総合健診センターの最も大きな特徴は奈良県一の件数を誇るPET検査と鎮静剤の使用による苦痛のない内視鏡検査です。日本人の3人に1人ががんで亡くなる現在、この二つの柱でがんの早期発見に努めてまいります。

また、虚血性心疾患や脳卒中の原因となる高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病についても医師からの丁寧な説明や専門性豊かな西の京病院と連携しながら早期治療に努めてまいります。

「見つかる」から「見つける」へ。西の京病院総合健診センターへ是非お越しください。



PETセンター長
水谷 陽一

当総合健診センターは全国的に見ても高性能である最新のPET-CT装置を導入しており、より精密な結果を報告できるよう心がけております。PET検査をはじめ、最先端検査機器を用いた多くのオプション検査もご用意しており、受診者様のお身体の状態や生活習慣などご要望に応じた検査をお受けいただけます。

また、検査後の再検査や治療が必要な方へは西の京病院をはじめ近隣の連携医療機関など、ご希望に応じた医療機関をご紹介させていただき、皆様のかげがえのない一生(健康)を支えていきます。

昨今、新型コロナウイルス感染症によって受診を控えてしまうケースが増えています。早期で見つかるはずだった“がん”が深刻な状況になってしまいますと、ご自身だけではなく、家族や職場も含め、多大な負担を強いられることとなります。施設内は十分な感染対策を行い、安心して受診いただける環境となっておりますので、ご自身や周りの大切な方々の安心のために是非ご受診ください。

“見つかる”から“見つける”検診へ PETがん総合検診



死亡原因の第1位は“がん”(約2人に1人罹患、約3人に1人死亡)は早期発見・早期治療で治癒する可能性が高くなります。“がん”に特化したPET検査をはじめ最新機器の併用により“見つかる”から“見つける”検査でワンランク上の安心をご提供いたします。

PETがん検診の特徴

注射1本で苦痛なく全身のがんを診ることができます。PET検査が不得意とする泌尿器系のがんなどについては他の画像検査と併せ、より精度を高められます。

PET検診コースの料金・検査内容

コース名	通常価格 (税込)	検査 所要時間	検査項目														結果説明	食 事			
			PET	PET-CT	血液検査	CT			MRI		MRA	超音波検査			内視鏡				血圧脈波	心電図	安静時
						ニコ全 身 グリス	胸部	上腹部	頭部	骨盤部	頭部	腹部	心臓	頸動脈	胃	大腸					
PETファーストコース	77,000円	約2.5時間	●																●	●	
PETスタンダードコース	120,000円	約3.5時間	●		●		●	●											●	●	
PETトータルコース	170,000円	約4.5時間	●		●		●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	
PET-CT エグゼクティブコース	216,000円	約4.5時間		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※当院のPET検査は、頭頂部より大腿部まで撮影いたします。 ※検査結果は2週間以内に郵送します。
 ※血液検査の内容…腫瘍マーカー6項目・胃ペプシノーゲン・ピロリ菌・一般生化学検査・尿一般検査・便潜血検査(2日法)を含んだ精密検査です。
 ※結果説明はご希望の方のみ後日無料にて行います。お電話にてご予約をお願いいたします(診察時間 月～土曜日の14時～16時)
 ※他のオプション検査をご希望の際はご相談ください。 ※各種クレジットカードがご利用いただけます。

あなたの健康管理をサポート 人間ドック



疾病の早期発見・早期治療はもとより、生活習慣病の改善・疾病の予防に対する指導、アドバイスを大切にしております。受診者の皆さまに、いつまでも健康で快適な生活を送っていただく事を願っております。

人間ドックの特徴

- ◎受診者様が受けたい検査(デマンド)・医師が受診者様にとって必要と思う検査(ニーズ)を相互理解のもと、少しでもご満足いただける診察と結果説明を心掛けております。
- ◎胃内視鏡検査による苦痛の軽減を図るため、当院では鎮静下で内視鏡検査を行っております。
- ◎「総合健診センター」検査専用フロアで、ゆとりのある空間をご用意しております。

半日コース 46,200円(税込) *その他オプションもご用意しております。詳しくはご相談下さい。

血圧測定

尿・血液検査

便検査

胸部レントゲン

心電図

腹部超音波

聴力検査

肺機能測定

視力・眼底・眼圧

上部消化管内視鏡検査 または 胃透視検査

西の京病院ホームページからもお申込みいただけます。<https://www.nishinokyo.or.jp/plaza>

人間ドック直通TEL 0742-35-1564 [受付時間 平日(月～金)9:00～16:30 (土)9:00～12:00]

企業健診(団体)のお申し込みの方

西の京病院内にて企業さまの健康診断を行っています。従業員の方の雇入時健康診断や定期健康診断にぜひご利用ください。

【お問い合わせ】代表電話 0742-35-1121

【お問い合わせ受付時間】平日(月～金) 午前9:00～午後4:00 (土)午前9:00～午後12:00

先進医療で地域に貢献、健やかな暮らしをサポート！

PETセンター

(メディカルプラザ薬師西の京)

お問い合わせ先: アクセスセンター

TEL: 0742-35-1215

FAX: 0742-35-1216



POINT

全国トップクラスの検査実績

PET4台 (PET-CT 1台、PET 3台)

約4,000件/年間、

2004年開設以来のべ70,000件の実績

(2023年6月現在)

POINT

注射1本で全身のがん検索ができる

POINT

早期胃がんを除くすべてのがんの診断に保険適応

当センターは、PET-CT検査をはじめ最新の検査機器で“がん”の早期発見、再発・転移の診断を行っております。専任のPET核医学認定医による精度の高い診断を行っており、地域の医療機関とも幅広く連携しております。

PET 検査とは

がん細胞は正常細胞と比べて、ブドウ糖を多量に摂取(3~8倍)する特性を利用した検査です。FDG(ブドウ糖類似薬剤)を静脈注射し、1時間安静後に全身を約10分かけて撮影し薬剤の分布(集積)状態で判定します。

長所

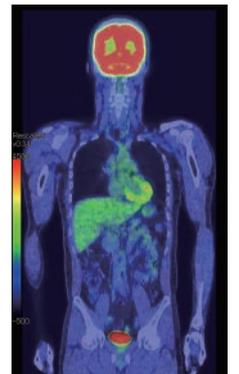
- ①注射1本で全身の検索ができる
- ②腫瘍の検出能が高い
- ③悪性度の判定が可能
- ④病期診断、原発巣の検索が可能
- ⑤治療後の効果判定に有効
- ⑥転移・再発診断に有効

短所

- ①胃、泌尿器系等、部位によっては描出困難な臓器や腫瘍タイプあり
- ②炎症等で擬陽性になることあり



PET画像1



PET画像2

PET検査の保険適応

PET検査は早期胃がんを除くすべてのがん既往歴の方に対して、治療前後および経過観察時の転移・再発の確認に有用とされ保険も適応されます。詳しくはかかりつけ医師にご相談ください。

PETセンターの医療機器

PET-CT

最新のPETとCTを組み合わせた装置です。両画像を重ね合わせて表示することでより正確な位置情報と診断が得られます。

全身撮影

高分解能
画像

画像の融合で
高い診断能



シーメンス社 Biograph Horizon

PET

全身撮影

PET専用機の導入により、受診者の体への負担を軽減。しかも高精度な情報が得られます。

ミリ単位のがんに挑戦

速く・鮮明な画像



PET島津 Eminence-G

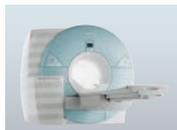
全身MRI

被曝の無い検査法です。

一度に
全身撮影

時間短縮

検査画像の例



シーメンス社 MAGNETOM Avanto1.5T

64スライスCT

高速撮影で広範囲の画像が得られ、検査時間の短縮に加え、被曝低減に優れた装置です。

高速撮影

肺・心臓
検査に最適



シーメンス社 SOMATOM Sensation64

最高の医療を提供するために

多職種連携(チーム医療)

一人ひとりの患者さまを中心に、医師・看護部・診療支援部等の多職種が協力し、お互いが専門性の高い知識や能力を活かし、職種や組織の枠組みを越えて、多角的かつ横断的な視点からチームとして患者さまに対応します。チーム医療として多職種連携により、疾病の早期発見、重症化予防、治療回復、退院後の生活支援など、患者さまに「安心・信頼」のできる医療が提供できるよう、最高の技術・設備・心で医療に努めます。



看護部

看護師は、診療・治療に関連することから患者さまの療養生活の支援まで幅広い業務を担い、患者さまにいちばん近い立場にいると思います。患者さまに最良な医療の提供と、退院後の生活を見据えた関りをする為に、チーム医療のキーパーソンとして多職種と意見交換しながら連携、補完できるようにしています。退院後も地域で生活していただくために、患者さまやご家族の意向を確認しながら在宅部門との連携に努めます。



薬剤部

薬剤師は処方箋に基づいて調剤するだけでなく、お薬について患者さまへ詳しく説明をし、副作用の確認も行います。

チーム医療の中では、薬の専門家として情報提供や適切な薬物治療の提案を行うなど、他職種のスタッフと連携をとっています。



栄養管理部

各病棟に管理栄養士を配置し、病状に応じた細やかな栄養管理を行います。安全で美味しい病院食の提供や各医療チームと連携することで疾病の治療を図ります。個別栄養食事指導では患者さま個々に合わせた丁寧な指導を心がけ、退院後の食事療養を支援します。



臨床工学科

臨床工学科は医療に不可欠な医療機器の操作・保守点検を行っています。診療支援部の一員として透析センター・心臓カテーテル室・手術室・消化器内視鏡センターで従事しています。今後も、患者さまにより良い治療が提供できるようにサポートさせていただきます。



臨床検査科

心電図・呼吸機能検査・超音波検査などの生理機能検査、尿・血液などの検査を扱う検体検査を行っています。迅速・正確性に加え、検査技術の向上とコミュニケーションを大切に、患者さまより得られる情報を正確に報告出来るよう努めています。



リハビリテーション科

運動器・脳血管・廃用症候群・呼吸器の各疾患別リハビリテーション施設基準を取得しています。専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、温かい心配りと質の高い技術で、その人にあったリハビリサービスを提供し、その人らしい生活ができるよう支援させていただきます。



放射線科

業務は、X線撮影・乳房撮影・透視検査・血管造影検査・骨密度測定・CTやMRI検査からPET検査まで多岐にわたり、画像は全て電子カルテと連携して迅速な診断、治療に役立っています。安心して検査を受けていただき、診断価値の高い画像提供を心掛け、日々知識・技術の向上に努めています。



歯科

歯や口の健康は「おいしく食べる」、「楽しく会話する」など、健康で生き生きとした生活を送るための基本となります。また近年では「歯や口の健康と全身の健康の関係」が明らかになり、歯や口の病気が全身の健康に影響を与えることがわかりました。歯科衛生士は歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図ることを目的として、患者さまのお口の健康づくりをサポートさせていただきます。

一人ひとりの患者さまにふさわしい医療が提供できるよう支援しています

患者支援センター

西の京病院患者支援センターでは、地域の医療機関および関係機関との連携窓口として、患者さまが安心して質の高い医療・サービスを受けていただけるよう支援を行っています。また、一人ひとりの患者さまにふさわしい医療が提供できるよう、入退院支援部門、地域医療連携部門、医療相談部門が連携を密に取り患者支援を行っています。



患者支援センター業務 6つの柱

- ① 入院支援業務
- ② 退院支援業務
- ③ 地域医療連携業務
- ④ 医療福祉支援業務
- ⑤ 患者様相談窓口業務
- ⑥ 地域包括支援業務

入院支援

入院予約をしていただいた時(緊急入院は除く)から入院までの間に、通常の入院説明に加え、患者さまの身体的・社会的・心理的問題を把握し、必要に応じて医療相談員・看護師・薬剤師・栄養士によるサポートを入院前から行います。入院前から患者さまと密にかかわりを持つことにより患者さまが安心して入院できる環境を整えていきます。

地域医療連携

- ・医療機関等の受診依頼、予約の窓口
- ・紹介元からの各種問い合わせ対応
- ・各種診療案内などの情報案内
- ・紹介医療機関への情報提供



患者様相談窓口

- ・疾患、治療に対する情報提供
- ・受診相談に関すること
- ・療養相談に関すること
- ・医療費・介護保険の相談
- ・療養生活におけるご意見やご相談

退院支援

- ・在宅復帰支援
- ・在宅療養支援
- ・社会復帰支援
- ・退院、転院調整など

医療福祉支援

- ・退院支援調整
- ・心理・社会的相談に関すること

地域包括支援

- ・各種教室、講演会等の支援

西の京病院 患者支援センター お問い合わせ時間 平日8:30~17:00 土曜日8:30~12:30
TEL:0742-35-2219 FAX:0742-35-2106

医療法人 康仁会 沿革

昭和61年10月 西の京病院開設
一般病床109床、ICU6床、人工透析17床

昭和63年1月 医療法人康仁会設立

平成元年5月 新館建設
一般病床33床増床(全142床)
人工透析18床増床(全35床)
MRI(MRH500)導入

平成2年5月 一般病床35床増床(全177床)

平成4年12月 透析センター25床増床(全60床)

平成8年12月 本館・新館改装

平成9年5月 介護老人保健施設 ロイヤルフェニックス開設
5月 訪問看護ステーション かがやき開設

平成12年5月 一般病床57床減床
療養病床79床増床(全199床)
6月 透析センター2床増床(全62床)

平成13年5月 透析センター8床増床(全70床)
8月 北館建設、新手術室開設、多目的ホール開設
12月 ハイテスラMRI導入

平成14年7月 フルオープン(許可病床数248床)
※一般病床148、療養病床100(医療50、介護50)
(介護型療養病床は平成26年より地域包括ケア病床に変更)

平成16年6月 6スライスCT導入
10月 メディカルプラザ薬師西の京開設
PETカメラ3台、全身MRI1台
64スライスCT1台導入
透析センター併設(CAPD部・人工透析36床)

平成18年8月 心臓血管カテーテル室開設

平成20年10月 院内保育所ひかり開設

平成21年7月 DPC対象病院として厚生労働省の認定を受ける
新東棟オープン 手術室2室増室(全4室)
整形外科向けプランニングツール
「Ortho Planner」導入
オーダーリングシステム導入

平成21年10月 ハイパーサーミア治療(温熱療法)開始
12月 7対1看護配置基準を取得

平成22年2月 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得
4月 西の京脊椎・人工関節センター開設

平成23年5月 歯科開設
6月 介護付有料老人ホーム メビウス大和郡山開設
10月 西大寺クリニック透析センター(25床)開設
12月 16スライスCT導入

平成24年8月 血管内超音波診断装置(IVUS)導入
9月 手術用ナビゲーションシステム導入

平成25年4月 下肢静脈瘤治療用レーザー導入
10月 全身骨密度測定機導入

平成26年1月 救急外来改修・外来化学療法室設置(3床)
本院透析2床増床(68床)
プラザ透析2床増床(38床)

平成26年7月 介護療養病棟を医療療養病棟に転換
8月 介護老人保健施設 ロイヤルフェニックス入所
150人、通所80人に変更
11月 医療療養病棟を地域包括ケア病棟に転換

平成27年3月 プラザ第2透析センター(36床)開設

平成27年4月 奈良県内で初めて、先進医療「実物大臓器立体モデルによる手術支援」の認定施設の認可を受ける

平成28年4月 最新MRI(1.5テスラ)入替

平成28年10月 創立30周年

平成28年11月 電子カルテシステム導入

平成30年4月 PET-CT導入
5月 サービス付高齢者向け住宅メビウスまほろば開設

令和2年4月 グループホームメビウスまほろば開設
メディカルプラザ薬師西の京に総合健診センター設置

令和2年8月 日本心血管インターベンション治療学会研修
関連施設認定

令和5年1月 心臓血管カテーテル室 アンギオ(心・血管造影)
装置を更新

令和5年4月 西の京介護医療院やすらぎ開設

西の京病院 概要

◎名称/医療法人 康仁会 西の京病院 ◎設立/昭和61年10月1日 ◎所在地/奈良市六条町102の1
◎TEL:0742-35-1121(代) FAX:0742-35-1160

◎会長 高比 康臣
◎理事長・病院長 吉岡 伸夫



医療法人 康仁会
医療・介護施設案内

西の京病院

① 一般病床148床・本院透析センター・消化器内視鏡センター・心臓血管カテーテル室

② 人工関節センター・脊椎センター・リハビリテーション室

③ 地域包括ケア病棟50床・医療型療養病棟50床

メディカルプラザ薬師西の京

④ PET総合健診センター・プラザ透析センター・血管外科センター・歯科・和膳ティーラウンジ寿康

西の京介護医療院やすらぎ

⑤ 入居定員48名

介護老人保健施設ロイヤルフェニックス

⑥ 入所定員150名・短期入所療養介護(ショートステイ)・通所リハビリテーション(デイケア) 通所定員80名・
ロイヤルフェニックス居宅介護支援事業所・西の京訪問看護ステーションかがやき



専門医のいる病院
西の京病院

奈良市六条町102-1

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp>
TEL:0742-35-1121(代)
FAX:0742-35-1160



メディカルプラザ薬師西の京

奈良市七条町95-1

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/plaza>
TEL:0742-35-1122

■ **西の京病院 総合健診センター**

PETがん総合検診 TEL:0742-35-1215 FAX:0742-35-1216
人間ドック TEL:0742-35-1564 FAX:0742-35-1216

■ **透析センター**

プラザ透析センター TEL:0742-35-7680 FAX:0742-35-7684
プラザ第2透析センター TEL:0742-35-1107 FAX:0742-35-1109

■ **血管外科センター** TEL:0742-35-1276 FAX:0742-35-1158

■ **歯科** TEL:0742-35-1117 FAX:0742-35-8018

西大寺クリニック
透析センター 奈良市西大寺南町4-11 明光第6ビル2階

DATA https://www.nishinokyo.or.jp/n_contents/touseki
TEL:0742-52-3711 FAX:0742-52-3712

主なサービス 透析



介護老人保健施設
ロイヤルフェニックス 奈良市六条町99-2

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/kaigo/royal>
TEL:0742-35-1313 FAX:0742-35-1311

主なサービス 入所/ショートステイ/通所リハビリテーション



介護付有料老人ホーム
メビウス大和郡山 大和郡山市柳1丁目14-1

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/kaigo/mebius>
TEL:0743-55-5588 FAX:0743-55-5589

主なサービス 生活支援/介護支援/食事/健康管理



サービス付き高齢者向け住宅
メビウスまほろば 奈良市六条西4丁目6番20号

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/kaigo/mahoroba>
TEL:0742-81-7733 FAX:0742-81-7707

主なサービス 生活支援/介護支援/食事/健康管理/安否確認/訪問介護/デイサービス/ケアプランセンター



グループホーム
メビウスまほろば 奈良市六条西4丁目6番20号

DATA <https://nishinokyo.or.jp/kaigo/group-home/index.html>
TEL:0742-81-7380 FAX:0742-81-7390

主なサービス 認知症ケア/生活支援/介護支援/食事/健康管理



訪問看護ステーション
かがやき 奈良市六条町99-2

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/kaigo/kagayaki>
TEL:0742-35-1123 FAX:0742-35-1139

主なサービス 看護/リハビリテーション

ロイヤルフェニックス
居宅介護支援事業所 奈良市六条町99-2

DATA https://www.nishinokyo.or.jp/n_contents/zaitaku
TEL:0742-35-1315 FAX:0742-30-2212

主なサービス ケアプランの作成/介護保険のご相談(無料)

西の京介護医療院
やすらぎ 奈良市六条町99-2

DATA <https://www.nishinokyo.or.jp/kaigo/yasuragi/index.html>
TEL:0742-32-5518 FAX:0742-32-5519

主なサービス 日常的医学管理/介護支援サービス/日常生活援助サービス/食事サービス



- **病院行シャトルバスご利用** (月~土 8:00~16:00 日・祝日は運休)
(病院から各駅への発車時刻は病院ホームページ等でご確認ください)
- 近鉄各線「大和西大寺」駅南口広場(ロータリー)より病院⇄毎時20分間隔で運行
 - 近鉄橿原線「西ノ京」駅西口、奈良交通バス操車場付近より毎時10分発車
 - 近鉄橿原線「郡山」駅東口、アスモ郡山(ASMO)前より毎時40分発車
 - JR大和路線「郡山」駅西口より毎時35分発車
- 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用がない方は、乗車をご遠慮していただく場合があります。

- **最寄り駅**
- 近鉄橿原線「西ノ京」駅下車 東口 徒歩10分、またはタクシーで4分
 - 奈良交通バス 「西の京病院」バス停留所前